

Global Management Program

グローバル マネジメント プログラム

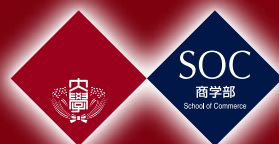
Annual Report

活動報告書

2024

国際社会に貢献するビジネス・リーダーを目指す

Becoming a business leader who contributes to the global society



早稲田大学 商学部

School of Commerce, Waseda University

世界へ羽ばたく人材を育成する 実践的なプログラム

「よりよい世界を創るグローバルビジネスリーダーを育成する」、これが早稲田大学商学部の国際教育プログラム Global Management Program (GMP)の使命です。現代の社会においては、地球／世界レベルはもちろん、国内においてもグローバルな知識・経験をもったリーダーが求められています。さらに、ビジネスは、各国の政治、文化、宗教と並んで現代社会を動かす大きな力となっています。GMPは「ビジネスを通じて今後の世界を創る」グローバルリーダーを輩出します。

GMPでは、グローバルビジネスリーダーに必要な資質・能力として次の3つを考えています。4年間のプログラムを通じて、学生のこれらの3つの能力を世界のトップレベルに引き上げます。

- (1) ビジネスにおける課題発見力、問題解決力
- (2) 世界のビジネス、経済、文化、社会の知識
- (3) 国際社会でのコミュニケーション能力

ご挨拶

2024年度で開始3年目を迎えたGMPでは、3・4年生合わせて100名超の学生が「これからの世界を創るグローバルリーダー」を目指して学習しました。彼らの学びはGMPの授業やゼミの範囲にとどまらず、自らの学習機会としてプログラムの企画・運営や広報活動などにも主体的に関わり、グローバルリーダーとして求められる能力を日々高めています。

今年度も昨年度に引き続き、世界トップレベルの海外大学の学生と共に学習する機会を多く得ることができました。とりわけ9月に実施したシンガポールでの海外合宿では、日ごろ研鑽を深めてきた成果を十二分に発揮しました。シンガポール国立大学(NUS)ビジネススクールの教授による講義では、英語での講義にアクティブに参加する姿が見られ、シンガポール経営大学(SMU)での大学院生との交流では、セッションを頼もしくリードしていました。さらに、現地企業の訪問では、企業からの事前課題に対する解決策を英語で見事にプレゼンテーションすることができました。この海外合宿を通じて、GMPの学生の能力の高さと彼らの著しい成長を改めて実感し、今後彼らがグローバルリーダーとして国際社会で活躍する姿をありありと思い浮かべることができました。

そのほか、6月には、昨年度の海外合宿で訪問した香港科技大学 Global Business (GBUS)プログラムの学生・教員約30名の来訪を受け、GMP・GBUSの混合チームでクリーンエネルギー・ビジネスの今後の可能性について議論しました。また、8月には、昨年度に引き続きアメリカのブライアント大学商学部の学生と共同学習のセッションを行いました。

世界各国の学生と共同学習を行うにあたっては、一部経費をGMPへのご寄付から支出させていただきました。また、GMPフォーラム、GMPキャリアフォーラム等の学習機会も様々な方々のご協力によって実現することができました。ご寄付、ご協力をいただいた方々に心から感謝を申し上げます。

われわれ早稲田大学商学部は、GMPから社会に巣立った学生たちが、世界各国で、そして日本で、今後のよりよい社会を創っていくことを心より願っております。来年度も、これまで以上にプログラムを発展させ、実り多い学習の機会を提供していく所存です。引き続き、皆様のGMPへのご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



プログラムディレクター
早稲田大学商学部 教授
広田 真一

Program Director
Professor, School of Commerce,
Waseda University
Shinichi Hirota

プログラム

Program

3つの修了要件

1 GMPゼミと論文執筆

GMPゼミは英語を主な言語として運営されます。GMPの学生は3・4年次の2年間継続して履修し、集大成として英語で卒業論文を執筆します。

2 GMPコア科目

英語によって行われるビジネスに関する専門科目を「GMPコア科目」として指定しています。コア科目のうち、5科目10単位以上を修得します。

▶コア科目

The Japanese Economy	International Consumer Behavior
Business Research Methods	International Management
Data Analytics for Business	International Strategies and Organization
Strategy, Policy, and Planning	Financial Management
Organizational Behavior	Introductory Econometrics
Accounting: Financial Literacy for All	Business History

3 英語運用能力

GMPの学生は1年次・2年次の必修英語において、習熟度別の上級プラスクラスまたは上級クラスの単位を修得する必要があります。上級プラス・上級クラスは1学年のうち上位20%以内を目安として選抜しています。その他の習熟度クラスの学生は、卒業時(GMP修了認定時)に指定された英語検定試験(TOEFL iBT、IELTS、TOEIC、英検)のスコアの提出により、英語運用能力を確認しています。



シンガポール合宿

2024年9月23日(月)から9月27日(金)まで、シンガポール国立大学(National University of Singapore)を主な訪問先として海外合宿を行いました。合宿では、シンガポール国立大学での講義と現地学生との交流をはじめ、シンガポール経営大学(Singapore Management University)訪問と交流、現地企業訪問など精力的に研修を実施しました。また、シンガポール稲門会のみなさまのご支援をたまり、キャリアフォーラムでお話をうかがうことができました。早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校も訪問して、高校生諸君に早稲田の魅力を発信する機会をいただいたのもよい経験になりました。

■ 日程

- | | |
|-------|--|
| 9月23日 | 移動、現地キックオフミーティング |
| 9月24日 | 企業訪問(三井物産/ ONE /ダイキン工業/ EY) |
| 9月25日 | 現地大学訪問(シンガポール国立大学/シンガポール経営大学)
GMPキャリアフォーラム in Singapore |
| 9月27日 | 早稲田渋谷シンガポール校訪問
総括ミーティング、移動 |



今回の訪問を通じて、学生たちは実際のビジネス環境を体験し、事業内容についても深く学ぶことができました。また、プレゼンテーションスキルや資料作成の技術についても多くの貴重なフィードバックを得ることができました。訪問を通じて得られた知識や経験は、今後の学びやキャリアにおいて大きな財産となることを確信しています。

(エドマンゼミ4年 奥羽聖華)

このシンガポール合宿で世界トップクラスの講義を受け、現地の学生たちと交流できたことは、大変貴重な経験でした。自分の凝り固まった考えや先入観に気づいた学生も多いと思います。今後もGMPのネットワークを広げていくなかで、様々な人々と関わり、様々な経験をする事で世界を牽引するグローバルリーダーを目指していきたいと考えています。

(広田ゼミ3年 茶野木陽彩)

日本企業をはじめとするグローバル企業の戦略やどのように海外拠点を捉えているのかなど、日本では意識しない部分を認識することができました。キャリアフォーラムでは、グローバルに活躍されているOBの方々から、今後どのようにキャリアを形成するのかをはじめとした大変参考になるお話を伺い、勉強になりました。グローバルリーダーとして活躍するためには、言語はもちろんのこと、現地の文化や情勢など日本ではあまり意識しないことを意識的に考えないと成功できないと感じました。

(広田ゼミ3年 渡邊孝太郎)



ブライアント大学との合同イベント

Event

昨年に引き続き、2024年8月21日(水)、22日(木)の二日間、アメリカのブライアント大学(Bryant University)のビジネス学部(College of Business)から学生18名と教員3名が早稲田キャンパスに来訪し、GMP学生との交流会を開催しました。

ブライアント大学は、1863年に設立された米国東部のロードアイランドにある私立大学で、とりわけビジネス関連で高く評価されている大学です。

今回の交流会では、GMPの学生委員が中心となってプログラムを企画し、運営に当たりました。両大学から約30名の学生が参加し、ディスカッションやフィールドトリップ、企業訪問などを通じて親睦を深めました。



■ 日程

8月21日 ブライアント大学James Bishop教授による特別講義
両大学の学生によるプレゼンテーション・グループ討議
レセプション

8月22日 都内散策（明治神宮／スカイツリー）
企業訪問（東京海上ホールディングス）
～災害対策レジリエンス等の講義と質疑～



海外の学生と二日間密接に交流できたことが非常に貴重な経験となりました。学生主体で計画を立て、ブライアント大学の学生をもてなし、活発な議論と文化交流を行ったことは、大きな学びとなりました。この経験を通じて、私たちは将来グローバルな視点で活躍するための大きな糧を得ることができたと感じています。今後もGMPの活動を通じ、さらなる学びを得ながら、グローバルに活躍できる人材として成長していきたいと思います。

(スズキゼミ3年 木立実里、中出ゼミ3年 金子絢音)



第1回 GMPフォーラム

2024年4月30日(火)

日本の公的長期介護保険の持続可能性についてプレゼンテーションとディスカッションを行いました。現行の公的長期介護保険が持つ課題への解決策として、「健康な人の保険料の値下げ」「介護人材と利用者のマッチングプラットフォーム作り」「介護費用調達のための債券の発行」など、各班が独自のアイデアを提案しました。学生が介護分野におけるイノベーションの重要性を再認識すると同時に、超高齢社会を迎える日本が直面する深刻な財政問題・人材不足についての問題意識を高めることができました。



第1回 GMPフォーラムの様子

第2回 GMPフォーラム

2024年6月4日(火)

新たな地熱発電所建設プロジェクトを想定したビジネスピッチの作成を課題として、香港科技大学Global Business (GBUS) プログラムの学生と共同ケースコンペティションを実施しました。事前課題では、GBUSとGMP学生が混合チームを組み、対象地域における潜在的課題や地熱発電の直接的・間接的利益についてオンラインで話し合い、3分間の動画によるプレゼンテーションを提出しました。当日は動画選考を勝ち抜いた4チームが、地域社会の社会的、環境的持続可能性を考慮したピッチを行い、他のチームは「温泉経営者」「政府」「地元住民」「地元NGO」のいずれかの役割を担い、意見を出し合いました。地熱発電の理解を深めると同時に、再生可能エネルギー発電所の建設における地域社会への影響を考えるきっかけとなりました。



第2回 GMPフォーラムの様子

第3回 GMPフォーラム

2024年7月9日(火)

HKUST International Case Competition (HKICC) で過去に出題されたケーススタディをもとに、香港上海銀行 (HSBC) のデジタル化の現状、課題、戦略策定についてのプレゼンテーションを行いました。HSBCのデジタルトランスフォーメーション戦略について、「オプトアウト方式の自動デジタル化」「AIの自動学習によるデジタル化の顧客アシスト」「顧客に対してのデジタル教育プログラム」など様々なアイデアが発表されました。発表後には質問とフィードバックが投げかけられ、活発なディスカッションが行われました。「金融とデジタルの融合」という重要なトピックについて学習する良い機会になりました。



第3回 GMPフォーラムの様子

オープンキャンパスでのプレゼンテーション

2024年8月3日(土)、4日(日)

早稲田大学オープンキャンパスでは、GMP学生3名(元田就士、柳千晴、山口宙)がGMPについてプレゼンテーションを行いました。実際にGMPに参加している学生の目線から、GMPとは何か、GMPの学習内容、GMPで体験できることなどについて、高校生に理解してもらえるように説明を行いました。



オープンキャンパス

BFI Case Jam出場

2024年8月30日(金)、31日(土)

シンガポールで開催されたSingapore Management University (SMU) 主催のケーススタディコンペティション「BFI Case Jam」にGMP学生5名(板本蒼、上田瑞稀、佐々木晴香、東竹翔宇、渡邊孝太郎)が参加しました。今大会は、ファミリービジネスが直面する現実のビジネス課題(ケース)とそれに対する最適な解決方法を考案するもので、当日にチーム分けとケース課題文が発表され、6時間以内にビデオプレゼンテーションを提出するため、即興、協力、分析の要素が求められました。限られた時間の中で、課題の整理、最適な解決策の考案、わかりやすいプレゼンテーション作成をするためには、短時間でチームメンバーとの信頼関係を構築し、各々の特性を理解して役割分担をすることが鍵となりました。異なる文化的背景を持つメンバーとの協力を通じて、多角的な視点で問題解決に取り組む力を磨くことができました。



BFI Case Jamの様子

第4回 GMPフォーラム

2024年10月29日(火)

「気候変動問題」をテーマに、Business、NGO、Governmentsからなるステークホルダーグループが「どのような気候変動対策を講じるべきか」について施策を考案し、プレゼンテーションを行いました。

プレゼンテーション後には投票を行い、最も多くの支持を集めた施策は、気候変動シミュレーションツールを使用して効果を検証しました。各グループが考案した施策は、独創的なアプローチから高度な専門知識を駆使したものまで非常に多様であり、気候変動対策について知見を深める良い機会となりました。最も支持を集めたのは、製造・サービス業グループによるエネルギー効率の促進に関する施策で、その実現可能性や波及効果の高さには目を見張るものがありました。フォーラム全体を通じて、気候変動対策を進める上ではステークホルダー間の連携・協働が極めて重要であることを再認識しました。「社会問題を深く理解し、その問題に対して自分の意見を持つ」姿勢を育むための貴重な機会となりました。



第4回 GMPフォーラムの様子

第5回 GMPフォーラム

2024年11月26日(火)

株式会社電通様を訪問、商品開発に関する事前課題をもとに2つのチームが発表を行いました。1つ目のチームは、ベトナム市場の乳糖不耐症や乳製品アレルギー対応製品不足、健康志向の高まりに着目し、カシューナッツを原料とする植物性粉ミルクの開発・販売を提案、2つ目のチームは、ベトナムのコーヒー文化や持続可能性のニーズをふまえて、ライスペロテインを活用した環境配慮型ストローの開発と普及を提案しました。電通社員の方々からは発想の良さと網羅性が評価される一方、時間配分や具体性に関する課題も指摘されました。また海外事業を展開する際には、現地の文化や市場の特徴をしっかりと理解したうえで、現地の社会が抱える課題を正確に捉えること、実際の市場の反応をもとに改善を重ね(PDCAサイクル)、事業の中長期的な成果や成長につなげることなどが重要であることを学びました。今回の企業訪問は広告業界の可能性や重要性を深く理解するとともに、将来やキャリアを考える大きなきっかけとなりました。



第5回 GMPフォーラムの様子

第6回 GMPフォーラム(学生研究成果発表会)

2024年12月17日(火)

第6回GMPフォーラムでは来賓をお招きして研究成果発表会を開催しました。各ゼミで選抜された4年生がゼミ論文の内容を英語で発表しました。発表は念入りに準備されており、GMPでの学びを土台にグローバルな視点から社会的課題にアプローチした内容が多く見られました。質疑応答では、来賓の方々や教員、学生から鋭い質問が飛び交い、互いに刺激し合う議論の場となりました。この発表会を通じて、4年生がGMPでの学びを通じて培った知識とスキルを示す場面が随所に見られ、学びの成果が存分に発揮された会となりました。



第6回 GMPフォーラムの様子

研究内容・研究報告

Contemporary Strategic Management / Accounting, Economics and Society / Consumer Behavior Research
International Corporate Strategy / The World's Corporations in a Globalized Society / Study of Insurance from a Global Perspective
Empirical Study of Policy Evaluation / Economic and Business History: Global Perspectives

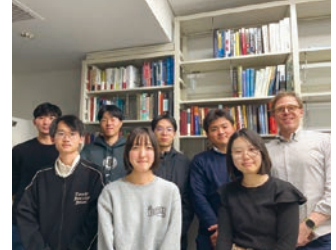
Contemporary Strategic Management (マレン ジョエル ゼミ)

■ 研究テーマ Research Theme

This zemi introduces students to tools useful for developing business strategy in a modern world characterized by climate change, rapidly advancing technologies, and pandemic diseases, among other challenges. In this zemi we will learn about using agent-based computational simulation models and statistical models to understand how business strategies fit into the contexts in which they are deployed. Models allow the strategist to identify the critical elements of the system in which businesses act and understand how those elements influence each other. We will also introduce evolutionary and complex systems science perspectives useful for understanding business issues and making strategic decisions in a complex world.

■ 活動内容 Activities

Zemi meetings will focus primarily on group discussion of readings as well as working through code writing and model analysis together. Working closely in a small group enables students to develop technical skills related to modeling and analysis while also refining their communication skills to clearly express their ideas and reasoning.



Accounting, Economics and Society (スズキ トモ ゼミ)

■ 研究テーマ Research Theme

「Account+ing(説明+行為)による望ましい現実の構築」を共通のテーマとし、ビジネス、経済、国際関係、サステナビリティ等の分野で学生が主体的にテーマを選び研究を進めています。スズキ教授と共に研究を進める場合には、今後世界が直面する成熟経済社会下での持続的発展政策やWell-being政策を研究します。従来の株式会社や上場制度における利益(=株主に帰属させる付加価値)重視の経営を見直し、付加価値の適正分配経営(DS経営)の可能性を探ります。このような考え方は岸田政権下の「新しい資本主義」構想の基礎を構成しました。次期政権でも踏襲・促進が期待され、実装・実践的な知見の習得に努めています。

■ 活動内容 Activities

学生の多くはDS経営推進のために上場企業の社長や役員と協働し、或いは財務、法務、デジタル、文科大臣や総理補佐官らの下での長期インターンを通して実際の政策提言に貢献しています。研究室は学生に解放されており、ランチや午後ティーを楽しみながら日常会話や研究上の討論がなされます。院進や留学等の準備も積極的に支援されます。写真は教授の実家、南伊豆での合宿の思い出です。



Consumer Behavior Research (フランク ビョーン ゼミ)

■ 研究テーマ Research Theme

This seminar focuses on statistical research methods and their application in marketing. Students build on their existing marketing knowledge to understand and interpret the results of recent marketing research published in international journals. The topics covered include international marketing, environmental marketing, sensory marketing, and digital marketing.

■ 活動内容 Activities

Students apply their research skills by analyzing marketing data and designing research projects, both individually and in groups. Using English, they present creative ideas, share insights, and discuss opinions. These activities aim to develop strategic solutions to current marketing problems through a combination of established knowledge, creativity, and data-driven evidence, preparing students to communicate their conclusions effectively in an international context.



International Corporate Strategy (エドマン ジェスパー ゼミ)

■ 研究テーマ Research Theme

Operating in the global economy means not only taking advantage of new markets and innovations, but also having to managing multiple cultures, geopolitical tensions, and technological disruptions. In this zemi we focus on how multinational enterprise effectively deal with these opportunities and challenges. Topics covered include market entry strategies, global strategy, global management, cross-cultural management, and non-market strategies.

■ 活動内容 Activities

The zemi offers a mix of practical and theoretical activities, including case-study discussions, online simulations, company-collaborations, and original research. The zemi places heavy emphasis on group work, creativity, and presentations, often under time-pressure. Come prepared to work and learn!



Report

The World's Corporations in a Globalized Society (広田 真一 ゼミ)

■ 研究テーマ Research Theme

世界中の企業の経営について学んでいます。企業の目的、行動、戦略、ファイナンス、ガバナンス、パフォーマンス(収益性、成長性、ESG)等を国ごとに比較し、各国の企業の共通点と相違点とを考察しています。そして、そうした国ごとの企業の特徴が、その国の経済、法律、文化、宗教などから生じているかどうかを検討しています。

■ 活動内容 Activities

ゼミでの学習においては、情報収集力、自ら考える力、データを分析する力、本質を見抜く力を高めています。研究論文をグループ(3年)・個人(4年)で執筆して商学部の学生懸賞論文に応募し、毎年賞を受賞しています。国際社会でのコミュニケーション力の養成に関しては、プレゼンテーション、ディスカッション、ライティングを日本語と英語のどちらでもできるようにしています。また、今や広田ゼミの伝統となった慶應義塾大学のゼミとのインターゼミも行っています。ゼミ生は、「10年後のグローバルリーダー」を目指して日々成長しています。



Study of Insurance from a Global Perspective (中出 哲 ゼミ)

■ 研究テーマ Research Theme

保険制度は、国際的であるとともに、歴史、文化、経済制度などの特性に基づき各国で違いがあります。本ゼミでは、海外の保険制度との比較研究を基礎として、日本の保険制度の在り方を検討し、また、社会課題の解決に資する保険制度の活用や新保険商品の提案もしています。

■ 活動内容 Activities

海外との比較に加えて、幅広い視野を得ることに力を入れ、研究成果を全国レベルのリスク・インシュランスセミナーや東京保険ゼミナールで発表しています。2023年度は、子育て支援保険制度を考案して前者の大会で学生評価、社会人評価の両部門で優勝し、業界新聞でも大きく報道されました。また、ゼミ研究をもとにした子育て保険の提案と中小企業海外M&A促進新保険の論文が、学外の論文コンクールで、最優秀賞と奨励賞を受賞しました。また、学生新商品アイデアコンテストで優勝し、日本代表として韓国でのコンクールに招待され、特別賞を受賞しました。2024年度は、スマート農業の支援保険、中小企業のDX推進を促進する保険、音楽著作権保護に関する保険などを研究しています。



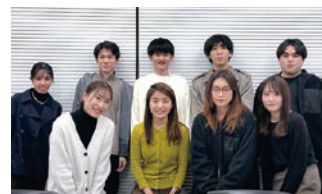
Empirical Study of Policy Evaluation (富 蓉 ゼミ)

■ 研究テーマ Research Theme

The primary aim of this seminar is to facilitate students in enhancing their decision-making proficiencies. Empirical investigations endeavor to infer a causal conclusion regarding the research inquiry by utilizing data obtained through observations or experiments.

■ 活動内容 Activities

This seminar focuses on developing evidence-based policy evaluation skills. Through empirical research using observational and experimental data, students learn methods to properly analyze causal relationships in policy effects. Activities include studying fundamental econometrics and improving data analysis skills using statistical software such as Stata. After mastering these basic research methods, students develop and present their own research projects in areas of personal interest, such as healthcare systems, educational institutions, or financial regulations. Throughout the seminar, students acquire evidence-based policy evaluation methods and develop empirical analysis skills essential for their future careers or graduate studies.



Economic and Business History: Global Perspectives (矢後 和彦 ゼミ)

■ 研究テーマ Research Theme

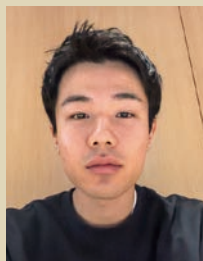
現代の経済史・経営史を研究しています。企業の戦略をマクロ経済の背景、産業や市場の動向、個々の企業の財務などから明らかにします。その背後にあるのは、企業の経営は過去の「経路」に拘束され、経営者の人物像も含めた極めて個性的な事象であるという考え方です。歴史は重要ですが、論理的ではありません。その論理的でないところを引き受けていくのが私たちの研究態度です。

■ 活動内容 Activities

ゼミでは日本企業を含めた多様な企業の歴史を英語で調べて発表する初歩的な勉強からはじまり、ゼミ生の関心に応じてOxfordやCambridgeのHandbookを幅広く読み込んでいきます。4年時からは卒論研究に取り組みます。テーマは個別企業の経営史、ファッションなど産業分野の展開、金融政策などのマクロ経済史、思想史や都市史など多様です。文献調査の方法からはじめて、英語によるプレゼンテーションまで、学生時代の思い出に残る研究を目指します。



学生からのコメント



加藤 龍昇 さん

今回のシンガポール合宿はGMPの目標である「国際社会に貢献する」ために必要なことを学ぶとても良い機会でした。企業訪問では商社、海運、コンサルティング、メーカーといった幅広い業界の企業を訪れ、各業界への理解が深まり、同時にシンガポール、強いては東南アジアでのビジネスについての知見も広がりました。大学訪問ではNUS(National University of Singapore)とSMU(Singapore Management University)を訪れました。NUSではイノベーションと経済データの見方についての講義を受けました。アジアでトップの大学の教授の授業は非常にレベルが高く、刺激を受けました。SMUでは現地の学生とゲームを通じて交流を深めました。シンガポールで働かれる早稲田のOB・OGの方々とお話する機会もいただけて、今後の自分らのキャリアを考える上で非常に参考になりました。

日本での企業訪問のプレゼン準備や大学訪問の事前課題、シンガポールでの実際の活動を通して自分らの成長を感じ、グループ活動では各々が役割を担ってリーダーシップを発揮することができました。今回の合宿で得たことを今後の学生生活、そして社会に出てからも大事にしていきたいです。



佐々木 晴香 さん

シンガポールのBFI Case Jamにて、世界の優秀な学生とともにケースコンペに参加しました。本大会は、ファミリービジネスが直面する現実のビジネス課題に焦点があてられ、その最適解決策を考案するものでした。当日にチーム分け、ケース課題文が発表され、その瞬間から各チームはリサーチ、分析、解決策の提案を6時間以内に行わなければなりません。緊張感のある大会ではありましたが、プレッシャーを共有し、共通の目標に向かってチームメイトと試行錯誤する時間はとても充実していました。様々なアイデアを受け入れるオープンさと、互いの熱意によって良い成果を収めることができました。

2日間の大会を通じて、知識の向上だけでなく、チームワークの重要性を改めて実感することができました。特に、異なる文化的背景を持つメンバーとの協力を通じて、多角的な視点で問題解決に取り組む力を磨くことができました。今後は、この大会で得た学びをゼミ活動やGMPのプロジェクトに活かし、さらに成長していきたいです。



吉村 龍二 さん

私は2024年の秋学期から、GMPの運営を担うStudents Committeeの委員長を務めています。Students Committeeには、毎月のGMP Forumやキャリアフォーラムを企画・運営する企画係、GMPの魅力を広める広報係など、多様な役割があり、メンバーは約20名に上ります。我々の使命は、GMPの円滑な運営と学生にとって価値ある機会の提供です。その使命を果たすため、各担当者と議論を重ね、さまざまなチャレンジに取り組んできました。委員長としての経験は、学部での学びを超えた、非常に貴重な体験でした。

GMPには、我々学生を国際社会で貢献できるビジネスリーダーへと成長させるための包括的なコンテンツが揃っています。私が感じるGMPの最大の価値は、仲間と共に挑戦する機会にあります。ビジネスの第一線で活躍する方々に向けてアウトプットを出す経験や、自身の専門分野を超え、多様なバックグラウンドを持つ学生と活動する経験は、GMPならではのものです。この恵まれた環境で過ごした2年間は、非常に刺激的であり、これからのキャリアを築く基盤となる貴重な経験でした。



柳 千晴 さん

私は本年度GMPの広報担当として、猪島さん、元田さんと様々な取り組みを行いました。例えば、GMPの活動内容が伝わるようにポスターのデザインを変更し、毎月のGMPフォーラムの前にはポスターの作成・配布とSNSでの告知を行いました。春学期からGMP説明会・相談会を複数回行ったことで、各ゼミの説明会では理解しにくい、GMPならではの学習機会を紹介できたと考えています。また説明会の後に相談会を設けたことで、GMPゼミの加入に迷っている商学部生のニーズや悩みを知る機会にもなりました。さらに、GMPフォーラムでは見学者向けに資料を配布し、休み時間には積極的にコミュニケーションをとるなど、見学者との交流を図りました。こうした取り組みにより、商学部生のGMPへの関心を高めることができたと感じています。

GMPの広報活動を通して、GMPでの活動は学生にとって国際的な学びや視点を得られるプログラムであると実感しました。今後より多くの商学部生が、GMPで実りある時間を過ごすことに期待しています。

GMPへの期待

GMPは皆さんにとってUnique History of Experience!



森村 等 様

1990年代、ニューヨークで米国株式のファンドマネジャーをしていた頃のビジネスフレンドが贈ってくれた、「The Roaring 2000s: Building the Wealth and Lifestyle You Desire in the Greatest Boom in History」(著者:Harry S. Dent) という資産運用の指南書に出会いました。この書の中に[Unique History of Experience] (以下UHOE) というファンドマネジャーやアナリストに必要な資質についての記述があり「これだ!」と心の中で叫んだのを今でも鮮明に覚えています。

GMPは皆さんにとってUHOEの一つであると思います。皆さんがこの様なUniqueな経験を積み重ねることによって人間として、そして社会人として他者にはない資質や能力を身につけられることを願っています。

そして、自分の好きな事やUHOEを踏まえてPurpose(社会における自分の存在意義)が何であるか日々探究することで自分に合った最善の仕事に就けるものと思います。

GMPの皆さんの前途は洋々であります。どんな困難な状況でもチャンスと捉え前向きに前進されることを祈念して応援の言葉とさせていただきます。

Happiness&Management株式会社 (コンサルファーム) 代表取締役
元クレディ・スイス信託銀行 (Credit Suisse Asset Management) 株式会社
(現 UBS アセット・マネジメント株式会社) マネージング・ディレクター

Meet your better selves in GMP



チン イン 様

Hi everyone, wish all of you are enjoying your GMP life right now! I find a little amazing to give my words here as a GMP alumni. It has been only a half year but I feel I've already started missing everything in GMP. Nothing to teach you as an alumni but just want all of you know that all the skills you learned and all the people you met here will be the most luxurious things in your life! Please don't hesitate to ask questions, to face failure, to improve and to move on!

Be brave to meet your better selves!

GMP修了生 (2024年3月修了)
GMP第一期学生代表

寄付者芳名

個人寄付 (五十音順)

〈2023年度〉 * 2023年度活動報告書未掲載のご寄付について掲載いたします。

飯泉 清 様 遠藤 四男夫 様 大塚 宗春 様 辻 正雄 様 森村 等 様

匿名希望 1 名

.....
〈2024年度〉

安藤 武彦 様 福島 裕 様 森村 等 様 吉田 均 様

団体寄付

〈2024年度〉

稲龍会 (商学部)

ご支援をいただきありがとうございました。

Global Management Program

グローバル マネジメント プログラム



Global Management
Program



早稲田大学 商学部
School of Commerce, Waseda University

Website : <https://www.waseda.jp/fcom/soc/students/gmp>

Tel : 03-5286-1821

E-mail : commerce16@list.waseda.jp

Address : 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田キャンパス11号館3階 商学学院事務所
3rd Floor, Bldg.11, Waseda Campus, 1-6-1, Nishi-Waseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-8050

